

平成26年度 主な事業一覧 (単位:千円)

チャーガンじゅうポイント制度	(1,000)
特別養護老人ホーム整備補助金	(345,632)
リハビリふれあいデイサービス事業	(25,500)
生活習慣病重症化予防事業	(15,770)
「健やか親子なは」評価・新規作成事業	(5,282)
那覇市健康ウォーキング推進事業	(3,300)
ナハノホイク・保育施設情報総合サイト設置運営事業	(2,489)
ナハノホイク案内人(ナビィ)設置事業(コンシェルジュ設置)	(2,342)
バリアフリー改装補助事業	(4,920)
(仮称)那覇市市歌選定検討会議関係事務費	(937)
学校施設耐震化事業(小中学校)	(86,148)
漁港等整備事業	(10,378)
マチグラー総合案内所事業	(7,011)
国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	(37,376)
観光案内板多国語充実事業	(12,021)
観光イベント等映像発信事業	(17,619)
新文化芸術発信拠点施設整備事業	(88,067)
地域(防災)案内付き掲示板設置改修補助事業	(58,832)
真和志南地区公民館・図書館(仮称)建設事業	(257,031)
小禄支所建設整備事業	(17,849)
津波避難ビル建設事業	(2,017,068)
消防署所(仮称)小禄南出張所整備事業	(45,019)
消防署所(仮称)樋川出張所整備事業	(51,923)
農連市場地区市街地再開発事業(防災街区整備事業)	(1,975,253)

**〔地域の支えあい〕**  
介護施設利用者の相談等に対応する、ボランティアの介護相談員の派遣事業を継続。市内のホームレスに対する社会的自立支援も継続。また、日常の金銭管理等で課題のある保護世帯に対する支援も継続します。

**〔自立を支援するサービス提供〕**  
解雇、離職等によって住居を喪失する恐れのある市民へ、住宅手当を給付するとともに、就業支援を行って生活の建て直しを応援します。「チャーガンじゅうポイント制度」を導入して、高齢者がボランティア活動を通じて地域に貢献することを推進します。

障がい者が地域で自立できるように、障害福祉サービスを引き続き提供します。重度の身体障がい者および知的障がい者の医療費等の自己負担金に対する助成も継続。障がい者の就職支援も継続いたします。

**〔人・自然・地球にやさしい環境共生都市〕**  
**〔地球環境への配慮〕**  
住宅用太陽光発電および太陽熱利用システムに対する助成を継続。地球温暖化対策に関する実行計画の策定に取り組みます。

地球温暖化対策として、緑のカーテンの設置および屋上・壁面緑化を継続します。

**〔資源循環型社会〕**  
団体に対して奨励金を交付し、資源ごみの適正な回収を推進します。水資源の有効利用および地下水の涵養を推進するため、雨水・井戸水利用施設等設置に対する補助を継続します。

**〔自然環境の保全・再生・創造〕**  
下水道設備が見込まれない地域の合併処理浄化槽への転換設置者に対する補助を継続。また、大気汚染物質であるPM2.5の測定を行い、結果を市民に公表します。

**〔衛生的な環境の確保〕**  
県と連携しながら、食品衛生監視員の資質向上を図るとともに、食品関係業者への講習会などの実施、指導・検査なども行って、安心安全の確保に取り組みます。  
観光地周辺の飼主のない猫に不妊去勢手術を実施し、繁殖の抑制による環境衛生上の問題の解決に取り組みます。

**〔子どもの笑顔あふれる、ゆたかな学習・文化都市〕**  
**〔生涯学習と地域の教育力の向上〕**

現市民会館の機能を維持するとともに、新文化芸術発信拠点施設建設の取り組みを推進し、文化芸術の振興発展に取り組みます。「真和志南地区まちづくり人材育成センター(仮称)」の整備に向け、基本構想と用地購入等に取り組みます。

**〔子育て支援と就学前教育・保育〕**

待機児童解消のため、老朽化した法人保育所の増改築への補助や認可化をめざす保育施設に対する運営費支援も行い、処遇改善に取り組みます。また、保育士人材確保のため、私立認可保育園保育士の処遇改善事業も実施します。さらに、預かり保育を全公立幼稚園に拡充。7幼稚園の園舎建設にも取り組み、幼稚園の特別支援教育も充実させるため非常勤のヘルパーを派遣



中核市・那覇 輝く未来

保育施設情報総合サイト「ナハノホイク」を開設。また、保育施設情報相談員を設置して、保護者に対する情報提供を強化。認可外保育施設の保育の質の向上と、入所児童の処遇改善のため環境整備も促進します。



**〔子どもの視点に立った環境づくり〕**

統合新校「那覇小学校」の水泳プールの改築と、地域・学校連携施設改修の工事を行います。耐震化に向け、小・中学校の老朽校舎や屋内運動場の改築工事、耐震診断も実施します。また、児童生徒の増加に伴う校舎の増築や小学校19校、中学校4校への冷房設置工事を行います。

児童生徒の特別支援教育を充実させるため、臨床心理士や巡回指導員を派遣、必要に応じてヘルパーも派遣いたします。小禄地区で、小中一貫教育を本格的に開始します。また、電子黒板を活用した授業づくりなどの推進を行います。

**〔文化の継承と発展〕**

国宝「琉球国王尚家関係資料」修理事業で、尚家文書に加え、刀剣三振りの修理を行います。沖縄習俗資料である厨子甕等の特別展を壺屋焼物博物館で開催いたします。

**〔人も、まちも活いき、美ら島の観光交流都市〕**

**〔産業の振興〕**  
久米島、渡嘉敷、座間味、渡名喜、栗国の離島5町村への渡航費用等を助成する、離島支援(島たび助成)を継続。農業分野では、伝統野菜の鏡水大根やハーブ等の生産と販売を支援し、水産分野では、新たに「那覇市水産

業振興基本計画」の策定、および船だまり等の整備に取り組みしていきます。

まちづくり拠点施設と一体となった新たなITインキュベーター施設を竣工させるほか、中小企業支援として、県外・海外への販路拡大支援事業も継続します。

本市観光の今後の取り組みを定める「那覇市観光基本計画」を策定。移動式車載大型ビジョンも活用し、本市観光PRに取り組みます。休憩コーナーや授乳室を備えた観光案内所を那覇市文化てんぶす館に設置。また、外国人観光客受入のため、国際通り周辺での案内サポートや店舗へのサポート要員の派遣などを行います。



**〔まちの活性化〕**

中心商店街の活性化基本計画を見直し、新たな基本計画を策定して、中心商店街の活性化を推進します。牧志公設市場に「マチグラー総合案内所」を開設するとともに、「ひやみかちマチグラー館」などを中心とした街の賑わいづくりを継続いたします。

**〔就労支援・相談体制〕**

多様化、複雑化する消費相談に対応するため、消費生活相談員等のレベルアップを図ります。中学生を対象とした就業意識向上のためのキャリア教育講座を開催。本市の企業立地と雇施策の基本指針の策定にも取り組みます。

**〔安心、安全で快適な亜熱帯庭園都市〕**  
**〔都市防災と防犯〕**

自治会等が管理する保安灯の設置および維持に対する補助を継続します。地域の安全安心のため松山地区への津波避難ビル建設に着手。さらに、民間住宅の耐震診断などへの補助を継続し、新たに不特定多数が利用する建築物への補助も実施します。



**〔市街地の整備〕**

各市営住宅の建て替え工事を引き続き推進。狭あい道路幅の整備に対する補助も継続。中心市街地の居住人口を増やすため、「まちなか居

住推進方針」の策定にも取り組みます。また、既存市営住宅集会所の改修整備を実施。農連市場地区、モノレル旭橋駅周辺地区の市街地再開発事業を推進し、土地の有効活用や災害時の復旧に役立つ、地籍調査も実施します。

**〔交通体系の整備〕**

交通体系の整備では、新規事業として都市計画道路・城東城北線の整備に着手。また、沖縄都市モノレル延長事業や、石嶺線など9路線の都市計画道路と身近な生活道路の整備を継続。歴史散歩道やバス停上層等の整備も進めます。さらに、「なはモビリティウィーク&カーフリーデー」の実施や「コミュニティバス導入検討」も行い、公共交通機関の利用推進・利便性向上に向けた取り組みを継続します。

**〔上下水道の整備〕**

国道507号線、県道宜野湾南風原線などで、配水管の耐震化を推進し、水道水の安定供給に努めます。下水道事業では、汚水管敷整備を継続します。歴史散歩道のマンホール蓋デザインの刷新にも取り組みます。また、浸水対策として、西地域および首里石嶺地域の雨水施設整備も引き続き推進します。

**〔自然と調和したまちなみ〕**

首里金城および壺屋地区において、良好な景観形成に取り組みます。市花木等の植樹を推進し、緑化による自然と調和したまちなみづくりを継続します。首里金城町の昔ながらの風景の保全継承のため、電線類の地中化による景観確保を推進します。公園内にあるデイゴや琉球松の防虫対策を実施するとともに、公園施設のグレードアップを図ります。

結びに イデオロギーよりアイデンティティ

平成24年度から始まったソフト交付金事業の取り組みによって、市内各地には、その成果が目に見える形で現れつつあります。整備を進めている那覇・福州友好都市交流シンボルも、クルーズ船で訪れる外国人観光客を迎える、那覇の新しい顔になるものと強く期待しております。それは、同時に、我が沖縄県のシンボルにもなると考えております。  
私たちは、「イデオロギーではなく、県民としてのアイデンティティ」で結束し、日本の中から東アジアの安定と平和を強く訴えていかなければなりません。沖縄がアジアとの交易や交流を通じて、自立した経済基盤を確立して発展するためにも、平和と安定は必要不可欠なものだということを、私たちは決して忘れてはなりません。  
市民の皆様とともに中核市・那覇と沖縄県の輝く未来を心より祈念申し上げます。平成26年度の施政方針の結びの言葉といたします。イッパーニフェーデービル。  
平成26年2月18日

那覇市長 翁 雄志